



広報

ひだ

町木



第101号

肥田町自治会

肥田町
まちおこし
推進協議会

年頭にあたって

自治会長 成宮 克美

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、自治会運営全般に格別のご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございました。自治会役員一同、感謝申し上げます。また、各種団体役員、ボランティアサークル、組長の皆様方、民生児童委員さんには、特にご協力いただきましたことに厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、コロナ禍に始まり二月二十四日にはロシアがウクライナへ侵攻を開始して全世界に強烈な衝撃を与えました。また、北朝鮮はミサイル発射を繰り返しているのが現状です。世界平和の均衡が崩壊しないかと気掛かりなところです。

自治会に於きましては、七月に『広報ひだ』第一〇〇号を発行していただきました。平成八年六月一日発行の第一号以来、歴代諸氏のご努力が有り、この度記念の発行となりました。今後も「肥田の情報紙」として末永く発行される事を期待します。

町民皆さんが楽しみにされていた八月

恒例の「肥田町夏祭り」はコロナ禍の第七波により今年もやむを得ず中止とさせていただきますでしたが、十月には文化祭を三年振りに開催する事ができました。日頃、皆さんが趣味等で制作された作品を来場者の方々に披露いただくお手伝いが出来て何よりでした。中日新聞、京都新聞に取材いただき他所からも「新聞見たで」と、大勢の方々が来場下さいました。ご協力ありがとうございました。

また、当町にとって懸案事項の一つでありました「通学歩道」の案件が関係者のご協力に因りまして取り敢えず一段落しました。(一部工事は来年度)これで、聖泉大学入口の現通学歩道より県道沿い残り約八十メートルが今年度中に工事完了となります。最も危険箇所だったルートへの安全が担保されて一安心です。

自治会活動は町民皆様のご理解、ご協力をいただきまして成り立つものです。引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。



防犯カメラ

末筆となりましたが、本年が町民の皆様にとって、また肥田町にとっても良き年でありますようにご祈念申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



祝
ご長寿の
お慶びを
申し上げます

百寿 (大正十三年生まれ)
鶴野 義子さん

卒寿 (昭和九年生まれ)
青木不二江さん

薩摩 茂和さん
成宮 ハツさん

米寿 (昭和十一年生まれ)

薩摩 芳子さん
薩摩三和子さん
元持 安栄さん

傘寿 (昭和十九年生まれ)

大家 勝治さん
藤野 敏子さん
岩尾八重子さん

喜寿 (昭和二十二年生まれ)

薩摩 直弘さん
藤野 真理さん
藤野喜代蔵さん
宮川 喜弘さん
森野 光夫さん

古希 (昭和二十九年生まれ)

清水賀寿子さん
吉岡真理子さん
大城 栄子さん
宮川 和子さん

還暦 (昭和三十八年生まれ)

薩摩 卓志さん
藤野 恵俊さん
藤野 直美さん
山岸 由美さん
薩摩 洋子さん
成宮 好美さん
成宮かよ子さん
伊関 由美さん
中村 成美さん
鹿島 葉子さん
前田 淳子さん

謹賀新年

農事改良組合長 大村 吉 継

新年明けましておめでとうござい
ます。町民の皆様におかれましては、健
やかに新年をお迎えのこととお慶び申上
げます。

日頃は農事改良組合活動に、ご理解ご
協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、9月9日には大型の台風14号
が発生し、暴風雨により一部のほ場で倒
れ影響が出ましたが、幸いにも大きな被
害には至りませんでした。

また、農地保全活動の一環として6月
18日に農道補修を実施し、組合員31名の
出役をいただき、10トトラック1台分の
粒調碎石を敷均し、転圧を行いました。



おかげさまでスムーズに走行できるよう
になりました。ご協力ありがとうございました。

ほ場整備事業が完了して約12年が経過
し、設備の老朽化に伴い、10月末に肥田
揚水機場の除塵機が修理されました。又、
水源の宇曾川に設置されているファブリ
ダムも37年経過しており、気になるとこ
ろであります。

残り三ヶ月精一杯務めさせていただきます
ます。最後になりましたが、本年が皆様
にとりまして良き年になりますよう心よ
りお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせ
ていただきます。

肥田町文化祭を終えて

文教部長 森野 洋 介

新型コロナウイルスの影響で中止が続い
ておりました、肥田町文化祭を3年振り
に開催することができ、25名66作品の出
品がありました。各作品、制作された方
の思いが詰まった素晴らしい物ばかりで
した。今回の文化祭は、京都新聞・中日
新聞の取材があり新聞掲載をご覧になっ
た他所からの来場者も多数あり、多くの
方に肥田町の魅力を感じて頂けたと思
います。

中にはJapanDIY大賞 一般部
門 優秀賞作品の薪ストーブを出品され
た方もあり、実際に火を点けて実演され
ていた作品もありました。

近年はコロナ禍により行事が殆ど無い
中で、このような地域の方と触れ合う事
はとても大切だと感じました。



古の肥田随想三題

- 一、白真弓（白檀） 松村
- 二、荒神山に二つの顔あり 高瀬
- 三、季節を感じる暮らし 青柳

白真弓（白檀）

ひだ・歴史資料館ガイド 松村 江梨子

この町にゆかり有る万葉集（十二巻、三〇九二）の初句「白真弓（白檀）」は枕詞と解釈されています。一般的に、枕詞はそれ自体に意味は無いので訳す必要はないとされていますが、ある著書では「その言葉を見無視するようなもので、和歌の本質には届かないのでは無いか」と述べています。

そこで細江の菅鳥を眺めながら妻を想う和歌では、白真弓（白檀）を妻の姿と重ねているのかもしれない…と想像が膨らみます。

白真弓は白木のマユミで作った丸木弓の事です。マユミの名前は、昔この木から弓が作られた事に因みます。材は堅く光沢のある白が美しいので、印鑑、将棋の駒などにも使われます。五月〜六月に淡緑色の小花を咲かせ、実は十月〜十一月、品種により白、淡紅、濃紅色に熟し四裂して、赤紅の種子が顔を出します。

ところで、原文の「白檀」には同じ漢字で「びやくだん」と読む香木があります。香木からなるお香は仏教と共に日本

に伝来し、奈良時代には厄除けや防虫など、実用的にも使われたようです。主要原産地はインドで、お香の他、仏像や数珠、扇の材としても珍重されています。マユミの可憐な実。美しい白木。また、白檀の香りは妻を思い出すものだったのかもしれない…。

肥田町の万葉歌碑の東隣には、マユミの木が植えられており、昨年も花を咲かせ、愛らしい実がなりました。最後に万葉集より一首添えさせて頂きます。

新しき年の始の初春の

今日降る雪の いや重け吉事

（二十巻四〇一六・大伴家持）

降りしきる雪さながら、今年は吉い事が、いよいよ重なりますように。

荒神山に二つの顔あり

ひだ・歴史資料館顧問 高瀬 俊 英

肥田から見る荒神山は、三つ四つのお椀を伏せたようなお山が低い方から高い方へと並んで見える。こんな優しい格好をしたお山に「荒神」という荒々しい神がどうして宿っているのかと、小さい頃から絶えず疑問を持っていた。

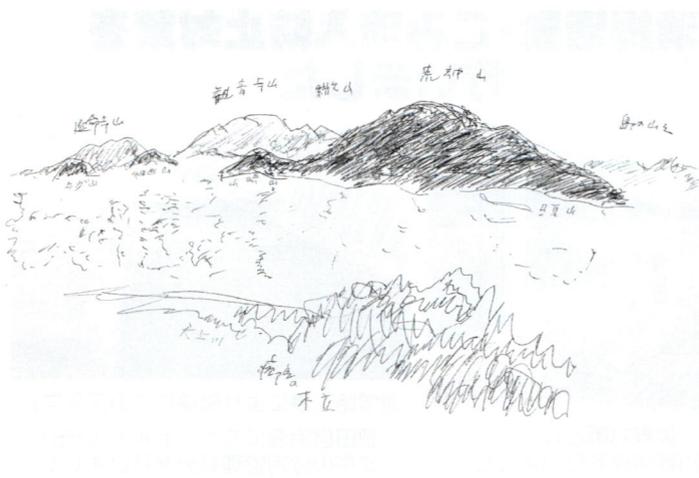
入院したのが彦根市民病院の五階病棟。地上から百mはある。そこから眺める荒神山はまた違っていた。丁度東からの位置（彦根側）から見て、左に裾野を張出し山崎山へ。右を見ると、遙か彼方にちよっと険しいがこれも低い夏山で、

その間に高さ四百余m、堂々の高さも広さもち、でつぷりと膨らみをもつ本体山が横たわっていて、聖なる威厳を備えている。遙か彼方に見える観音寺山、太郎坊宮のある延命寺山に比べても引けを取らない。これなら「荒神」が住みそうである。

六月二十九日、三十日、水無月祭が山頂で行われ、半年前からの無事に感謝し、向こう半年間の無病息災が祈願される。まさに信仰の山である。

子どもの頃が思い出される。下から頂上まで、ほしませ屋が並び、五銭、十銭と買い物をしたのが懐かしい。

さて、右側にまわり、荒神山を見ると、威厳はうすれ優しいお山に変わる。そし



てこう記されている。平に流れる山、平流山、へる山、あるいはひる山。そう言えば麓の大字は「へいる」である。昔は山の呼び方が見える方角で違っていたのかもしれない。

季節を感じる暮らし

ひだ歴史ガイド 青柳 麻美

肥田に越してくるまで、伝統的日本人屋に住んだことはありませんでした。現在の住居である古民家を通じて、昔の人の知恵の素晴らしさを知りました。建物の立地や構造どれをとっても、風土を的確にとらえて理の適った方法で建てられているということ。自然に沿った生活に基づいた感覚の鋭さに驚かされます。

例えば、家屋が傷みややすい夏の高温多湿といった気候を念頭に置いた、湿気や熱がこもりにくい風が通るような設計は、まるで家が呼吸しているようです。構造上、冬は寒いですが、なんとか暖房や厚着で対応しています。また、丈夫な自然建材が使われ、長持ちするようにしっかりと建てられています。築150年という年月がそのことを立証しています。今後も大事にお手入れしながら、オリジナルに近い形で残していければと思っています。

緑豊かな美しい風景に囲まれたこの古民家で過ごすうちに、微妙な季節の変化に敏感になりました。現代的利便さはないので大変なこともあります。とても心地よく快適に暮らしています。

祝御成人 おめでとうございます

宮川 愛那さん

新年あけましておめでとうございます。
コロナ禍の中、こうして無事に成人の日を迎えられたのは、家族や友人など周りの方々に支えていただいたお陰だと深く感謝しています。成人としてはまだまだ未熟なところがありますが、周りのお世話になった方達を支えていけるよう日々努力していきたいと思えます。

私は現在就職をして、社会の厳しさ、責任を持つことの大切さなどを学ぶことができました。まだ就職して二年ほどしか経っていませんが、信頼されるような人になれるよう仕事に励んでいきたいと思えます。これからも周りの方々に助けをいただくことがあると思えますが、どうぞよろしくお願ひ致します。



大城 風花さん (留学中)

11月13日

やってみよう! グラウンド・ゴルフ



清掃活動・ごみ流入防止対策を行いました



災害対策として
河川敷清掃を行いました



通路路工により暗渠にごみ流入防止
肥田自治会にてペットボトル・缶・
雑草の分別管理処分を行いました

お悔み

安らかに眠りください

北野 文子さん 享年九十四歳

(令和四年十月十八日逝去)

藤野 まさ子さん 享年八十歳

(令和四年十一月二十七日逝去)



編集後記

新春のお慶びを申し上げます。町民の皆様におかれましては、お健康やかに新春をお迎えのことと存じます。

昨年コロナ禍で年が明け、感染者が一ケタになり、これで終息するかのように見えた時期もありましたが、そんな甘いものではなく、感染者が増え先の見通しがつき辛い年でありました。更に石油価格の上昇や電気料金の上昇に身構えているところにウクライナ情勢によってインフレが加速、元総理大臣襲撃事件、観光船沈没事故と悲しいニュースが多かったのではないのでしょうか。

そんな中で嬉しいニュースもありました。記憶に新しいのが、春夏高校野球で活躍された近江高校の山田投手が西部ライオンズからドラフト会議で5位に指名され、今後の活躍に応援したいものです。

また北京2022冬季オリンピックが新型コロナウイルスに対する厳重な対策の中開催され、史上最多の18個のメダルを獲得されました、日本選手団の活躍から目が離せませんでした。

今年には明るいニュースが増える事を願いつつ、皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

末筆になりましたが、今回お力添えいただきました皆様には心よりお礼申し上げます。

元持 正行